

奇跡が起きる「仁」の医療

～ 笑顔で最期を迎える生き方 ～

岡原 仁志 (医療法人おかはら会
理事長 医師) 著

人は、ユーモア で治癒する。

病気でも、老いても、ボケても大往生。
「長寿の島」からハグ先生が提言。

がん末期の患者さん、重い認知症の人、まもなく最期を迎えるお年寄り・・・医療の力で「もう治らない人」は、はたして「悲しくてかわいそうな人」なのだろうか？ そうではないはずだ。自分らしく、笑顔で最期まで過ごせたら、それはまぎれもなく大往生。がん治療の最前線から「長寿の島のかかりつけ医」に転身した医師が提案する、人生の最期を笑って迎える生き方。

- 立派に生き抜いた末に「検死」という最期
 - モットーは思いやり、笑顔、ユーモア
 - 「希望」という名の処方箋
 - 「ユーモアとは『にもかかわらず』笑うこと」
 - ハグは“愛情ホルモン”を分泌させる
 - 笑顔で逝って『死に顔ピース』が生まれた
 - 死をお祝いにする
 - 生と死を地域に取り戻す
 - これは医療・介護における「里山資本主義」だ
- 目次より

特効薬は
笑い！



岡原仁志(おかはら ひとし)

おげんきクリニック院長、医療法人おかはら会理事長。昭和35年生まれ。仁を志すと書いて仁志と命名される。山口県大島郡周防大島町で育つ。61年順天堂大学医学部卒業後、同大学にて消化器外科医。平成7年より在宅医療を開始。15年に生まれ故郷の周防大島に戻り、岡原医院副院長。16年おげんきクリニック開設。24年複合型コミュニティ介護施設おげんきハグニティ開業。モットーとしている「患者中心の思いやり医療」は、「スーパーニュース」「主治医の見つかる診療所」「報道ステーション」等各種メディアに取り上げられる。

発売日:2014年8月30日 定価:840円(税込)

ISBNコード:978-4-7790-6106-6 仕様:新書判/ソフトカバー/192ページ(仮)

【リリースに関するお問い合わせ】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7 幻冬舎ルネッサンス 第三編集部 青木耕太郎

TEL:03-5411-7188 FAX:03-5411-7189 E-MAIL:kotaro_aoki@gentosha.co.jp